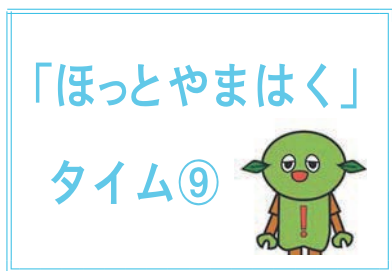


魅力がいっぱい「すごいおもちゃコーナー」



地域のもつさまざまな魅力を知ってもらうことは博物館にとって大きなテーマの一つです。2020年7月、山口博物館では次代を担う子どもたちに、ものづくりの仕組みや県内企業の技術力を分かりやすく学んでもらうために、（公財）やまぐち産業振興財団と共に、企業の卓越したものづくり技術で製作した玩具を展示する「すごいおもちゃコーナー」を開設しました。現在は2期目の展示を行っており、航空宇宙関連の部品を製作している宇部市の伸和精工の展示もしています。

「すごいおもちゃコーナー」とは

すごいおもちゃコーナーは、2階理工常設展示室に開設しています。コーナーの広さは約50平方



メートル、おもちゃを設置する体験台と各社の技術力を表す既存製品を展示するケースで構成しています。それぞれのおもちゃで楽しんだ子どもたちが各社の技術力に興味を持てるように、各おもちゃの対面にそれぞれの企業

ブースを配置し、特色ある製品や紹介映像などで各社の技術力を紹介しています。特別展や社会見学などの見学コースに本コーナーを組み入れることで、多くの方々に各社の技術を知っていただくようにしています。より多くの企業を紹介するために、約1年ごとに展示する企業を入れ替える予定にしております。現在は2期目の展示をしています。1期目の展示やおもちゃの動く様子は、当館ホームページの「バーチャルミュージアム」でも見ることが出来ます。ぜひ、アクセスしてみてください。

2期目のすごいおもちゃ

2期の展示は以下の4社のおもちゃを展示しています。



①水がもれないトラック（製作：アクシス／下関市）

2枚の板を折の曲げて製作されたトラックです。精密曲げ加工技術で製作されていて、折の曲げただけの荷台部分は隙間が全くなく、水が漏れることはありません。

アクシスは、金属の精密曲げ加工や溶接技術で全国トップクラスです。航空宇宙産業にも進出し、前人未踏のプロジェクト「空中発射姿勢制御装置」の開発に取り組んでいます。



②TETSUORI

伸和精工は、工作機械



③脱出！アリの巣型3D迷路（製作：伸和精工／宇部市）



3Dプリンターで、10センチ程度のキューブの中にアリの巣のような迷路が製作されています。うまくゴールにたどり着けるかな？ この製作技術は、小型通信衛星にも応用されている最先端技術です。



④チタントンボ（製作：ひびき精機／下関市）

複合精密切削加工で製作した金属加工の他、複雑な形状の炭素繊維強化プラスチックと金属のユニット加工部品の開発を進め、宇宙航空産業だけでなく、脳を部分的に冷却する部品、効率的に薬をつくる機器などの医療創薬分野にも事業展開をしています。

終わりに

現在はコロナ対応のため、せっかく作っていたいたおもちゃもケース内で展示していますが、出展企業の皆さまや学芸員の解説を交えながら体験する「すごいおもちゃ体験会」を毎月第4日曜日に開催し、県内企業の技術力の高さを感じる機会としています。2月27

日には伸和精工の「脱出！アリの巣型3D迷路」体験会を行い、多くの方にその技術力を体感していただきました。ぜひ、博物館に足を運んで県内技術の素晴らしさに接してみませんか。（理工部門学芸員・漁剛志）

▽次回は23日です。

山口県立山口博物館
TEL 083-922-0294
月曜休館（祝日の場合は翌日）。
最新情報はホームページで。

